



● 2012年 新しい年を迎えて

新しい年を迎え、成長や発展の年といわれる「辰年」がスタートしました。私がパナソニックグループを創業した1976年も辰年でした。創業から36年間を振り返ると、当社グループはいずれも辰年に大きな節目を迎えてきました。海外への進出を本格化し世界を見据えた事業体制にした1988年、また、長引く日本経済の低迷によって急激に増加した失業者の雇用対策に取り組むために株式上場を決意した2000年も辰年でした。

今年は創業から数えて4度目の辰年を迎えました。龍が大きな滝を勢いよく昇っていくかのごとく、そういう気概を持って今の日本経済、雇用問題の解決に力強く取り組んでまいり所存です。

● 東日本大震災から1年を経て

さて、東日本大震災の発生からまもなく1年が経ちます。震災による影響はいまなお大きく、雇用問題ひとつとってみても大変深刻な問題を抱えています。復興に向けて今年はより長期的な視点で活動していきます。いま大切なのは何ができるかではなく、皆の力を結集して“やらねばならない”という覚悟と決意です。その方法を考えて、実行していくことに全力を注いでまいります。

当社グループは、地方自治体や地域の方々とは協力しながら、様々な復興支援を行っています。福島県郡山市では教育委員会にご協力いただき、避難している子供たちに音楽活動を通じて心のケアを行う「パナソニック・東北こどもオーケストラ」も運営しています。当社グループの芸術家支援事業「パナソニック・ミュージックメイト」の若手音楽家がボランティア講師になり、震災からちょうど1年後の今年3月11日に復興コンサートを開催するため、現在約70名の子供たちが参加して練習に励んでいます。

また、被災地域のみならず全国の地方自治体から被災者の就労支援事業を受託して、各地に避難しているの方々への仕事相談や就労機会の拡大に努めています。

そして兵庫県淡路島で実施している「東北復興・淡路島ファーム」では、被災地域の若者16名が参加し、将来地元に戻って産業復興を担う人材を目指して農業を中心に地域活性化や様々なビジネスに関する経験、知識を学んでいます。

これからも引き続き、一日も早い復興に向け、グループ一丸となって取り組んでまいります。

● 農業分野での雇用創造を目指して

さて昨年は、TPP（環太平洋パートナーシップ）への参加の是非が話題になるなど、農業に対する関心が一段と高いものになりました。当社グループが農業分野での人材育成に取り組みはじめて9年目を迎えます。これまで様々な自治体から農業関連事業、就農支援事業を受託しており、その数は全国28事業に拡大しています。



そこで昨年12月に、農業分野の事業を更に大きく発展させるため「株式会社パソナ農援隊」を設立しました。新会社では、就農支援事業等での自治体との連携はもちろん、農業経営のコンサルティングや人材育成のほか、淡路島ですでに約10haの農地に拡大した「チャレンジファーム」で収穫される作物の販売や加工、商品化も手掛けてまいります。

● グローバル関連事業の強化と専門分野の高度化

国内経済の低迷や円高などを背景に日本企業の海外進出は加速し、震災以降ますます活発になりました。当社グループではこうした日系企業の海外進出をワンストップでサポートする体制の構築に取り組んでいます。今期はすでに米国、中国、インドで拠点を拡充したほか、インドネシアと韓国には新会社を設立して新たに進出しました。ベトナムでは日系人材会社として初めて人材紹介事業を開始し、中国では海外駐在員の給与計算や労務管理を行うペイロールセンターを開設しました。

そして国内においても、企業の人材ニーズはより高度化しています。海外企業との取引が増える中で語学力の重要性も高まっています。当社グループでは、語学や専門職種の研修カリキュラムを充実させ、登録いただいている方々のスキル向上を促し、より一層専門的な人材サービスを展開していきます。

当社グループは、創業以来「社会の問題点を解決する」を不変の企業理念に掲げ、事業を通じて雇用創造に取り組み、社会に貢献してまいりました。

経済環境がめまぐるしく変化する今、私たちは新しい働き方、新しい価値観を創造し、年齢や性別を問わず働きたいと願う誰もが自由に好きな仕事を選ぶことができ、イキイキと自分の能力・才能が発揮できるインフラの構築に取り組んでまいります。

これからも皆さまの変わらぬご支援を心よりお願い申し上げます。

これからの東北、そして日本の未来のために

パナグループでは東日本大震災で被災された方々の就労サポートを行う「震災ワークレスキュー」を立ち上げ、相談窓口を開設しています。被災地はもちろん全国の地方自治体と連携して就労支援に取り組み、多数の被災者就職支援事業を受託しているほか、避難所の巡回やメンタルケアなどきめ細かいサポートを継続的にを行い、被災地の復興を支援しています。

● 被災された方への就労支援活動

農・漁業の6次産業化を担う人材を育成 岩手県で「バリューチェーン人材育成事業」

岩手県で被災した求職者等を対象に、生産から商品開発、農・水産物の加工・販売までを一体としてとらえ、農業・漁業の6次産業化を担う人材を育成する事業を開始しました。農業・漁業等の1次産業と、食品加工・小売・外食等の2次・3次産業の双方で研修を実施し、震災で甚大な被害を受けた岩手県の復興と地域ブランドの再生を支援しています。



農業の集合研修

6次産業化

1次産業が、経営の多角化や、2次・3次産業との連携により、生産だけでなく、加工品の開発・直販体制の構築、観光やレストランなどの事業展開を図ること

スマホ向けアプリ開発などを担うネット人材を育成 仙台市で「産業人材育成事業」

新たな成長産業として電子商取引市場やスマートフォン(スマホ)市場に注目が集まる一方で、ネットショップ運営やスマホ向けアプリケーション開発を担う人材が不足しています。仙台市とパナ、パナテックは求職中の方に研修や企業での実習を通じて、必要な知識・技術の習得と、資格取得をサポートすることで、この分野への就職を支援しています。



厳しい雇用情勢が続く仙台において、雇用ミスマッチを解消し、地域経済の復興・発展に貢献していきます

若者の就職と経済復興を支援 福島県でインターン生400名募集

福島県の中小企業で職場実習を行うインターン生400名を募集し、受入れ先の担当者による企業説明と実習生のマッチングを行う合同企業説明会を開催しました。個別にキャリアカウンセリングを実施し、震災と原発事故により甚大な影響を受けた福島県の若者と地元の中小企業の橋渡しを行い、雇用機会の確保とキャリア形成、福島県経済の復興を支援しています。



福島市と郡山市で合同企業説明会を開催。優れた技術やノウハウを持つ中小企業の魅力を知ってもらうのも目的のひとつです

農業を通じて東北復興を目指す 「東北復興・淡路島ファーム」

被災地の産業復興を担う人材を育成する「東北復興・淡路島ファーム」を兵庫県淡路島に開設しました。就農に必要な知識・技術を学ぶ実習やビジネス研修に加えて、バイオマスエネルギーに関する知識、ひまわり・菜の花の栽培、サラダ油の製造、廃油回収などエコ関連の実習も行い、将来、東北にそれらの知識・スキルを還元していただくことを目指しています。



宮城・岩手・福島から集まった参加者が、様々な経験を活かして「東北復興プロデューサー」になることを目指しています

● 地域社会とともに明日を創る

「パソナ・東北子どもオーケストラ」設立

音楽による子供たちの心のケアと地域コミュニティ再生を目指して「パソナ・東北子どもオーケストラ」を福島県郡山市に設立しました。2012年3月11日のコンサート開催を目指して毎月練習しています。音楽指導や楽器の寄付など、パソナグループが継続的に支援していきます。



指導は「パソナミュージックメイト」(仕事と音楽・演劇活動の両立をサポートする芸術家支援事業)の演奏家が行っています

東松島市の野蒜小学校で ひまわりの苗を定植

「ボランティア休職制度」を活用してパソナグループ社員が参加した「第2回復興支援バスツアー」(2011年6月)では、野蒜小学校の教職員、仮設校庭を貸してくださった皆さんと一緒に、淡路島の「ここから村」で育てたひまわりの苗の定植を行いました。



野蒜小学校の校長から、子供たちの近況や、ひまわりの開花を知らせるお礼状をいただきました

「岩手スポーツキャラバン」に参加

2011年8月に開催された復興支援イベント「岩手スポーツキャラバン」(スペシャルオリンピックス日本主催)に参加し、競技運営をサポートしました。スポーツを楽しむことでアスリートと家族、応援する人たちやボランティアが健康になり、喜びを感じ、日常をとり戻せるように、これからも活動を続けていきます。



当日撮影した写真でアルバムを作成し、参加者に配布するボランティア活動も行いました

パソナ・シャドーキャビネット 復興支援省が 「東北Week」を開催し、名産品を支援

震災後、消費低迷や風評被害に悩む東北を支援するため、通常は地元でしか購入できない名産品を東北の道の駅から取り寄せ、パソナグループ本部で販売しました。社員食堂やイベントでも東北の食材を使用した特別メニューを提供し、売上は地元の生産者に還元しました。



パソナ・シャドーキャビネットは雇用を切り口に専門家とともに研究・議論し、社会の問題点の解決策を提案しています

ソーシャルアクティビストとしての主な活動 2011.6~11

- 堺市の被災者交流会に参加し、就職相談会を実施
- パソナ・仙台が被災地経営相談会を開催
- 関西シャドーキャビネットがワンコインで「食べる支援」開始
- 第2回復興支援バスツアーでひまわりの苗を定植
- パソナ・松江が「福島ひまわり里親プロジェクト」に参画
- ソウルメイツハーモニー「被災者チャリティコンサート」開催
- 東北六魂祭開催、第3回復興支援バスツアー実施
- パソナキャリアが「ふるさとふくし巡回就職相談セッション」運営受託
- 宮城県亘理町などに救援物資を送付
- パソナ・沼津が震災復興支援バザーの収益金を日本赤十字社へ寄付
- パソナ・仙台が「いのちをつなぐ森プロジェクト」植林に参加
- 「東北復興プロデューサー」募集開始
- 「いばらき就職チャレンジプログラム」募集開始
- シャドーキャビネット「被災者向けイベントinチャレンジファーム」実施
- パソナ・岡崎/東海営業部の派遣スタッフ・社員がパソナ・仙台に応援旗作成
- パソナ・松江が「しまね被災者就農・林業支援事業」募集開始
- パソナテックがチャリティボーリング大会実施
- パソナ・宮崎が「宮崎県被災者雇用支援事業」募集開始
- 岩手スポーツキャラバン「被災地アスリート元気プロジェクト」参加
- パソナファミリーでチャリティバザーを実施し、寄付
- パソナ・広島が「震災関連離職者等就職支援プロジェクト」募集開始
- 「東日本大震災復興支援 高円寺阿波踊り」に参加
- パソナ・さいたまが「震災被災者再チャレンジ就職支援事業」募集開始
- パソナ・松江が市民活動フェスタで「しまね震災ボランティア基金」受付ボランティア
- パソナ・北九州/福岡が東日本大震災写真洗浄ボランティア
- パソナ・宇都宮がチャリティイベントを「チャレンジファームinとちぎ」で開催
- 関西地区で東北物産品販売・避難者との交流を目指しチャリティバザー参加
- 「福島県新卒者就職応援プロジェクト」参加者募集開始
- 「パソナ・東北子どもオーケストラ」設立
- パソナフォスターが東北地方の保育士向け就職支援合同セミナー開始

2011年

パナソニック

www.pasona-src.co.jp

8月

介護サービスのノウハウを活かした 家事代行サービス「家ゴトConcierge」

「夜間見守り」や「外出付き添い」などシニア向けのサービスメニューを独自に追加し、ご利用家庭の要望に合わせてオーダーメイドで提供する「家ゴトConcierge（イエゴトコンシェルジュ）」サービスを開始しました。



掃除や洗濯、料理等の優れた家事能力と介護の知識を併せ持つスペシャリストが対応。関西でもご利用いただけます

パナソニックグループ

www.pasonagroup.co.jp

11月

～「職」から「触」から「食」まで～ 「パナソニックグループ eco博」開催

環境を考えた仕事やライフスタイルを提案する「パナソニックグループ eco博」を開催。エコ関連の仕事や働き方の紹介はもとより、スマートシティなどに関する講演、エコファッションショーや省エネクッキングセミナーなども行いました。



会場のパナソニックグループ本部に2日間で延べ2,500名以上が来場。講演では環境に関心の高い参加者が熱心に耳を傾けました

パナソニック

www.pasona.co.jp

11月

「金融エキスパート講座」開始 金融業界のスペシャリストを育成

金融知識や税務、社会保障などに関する全般的な知識を学ぶ、ファイナンシャルラーニング社と共同開発したeラーニングシステムと集合研修の講座を2ヶ月間提供し、金融業界でのキャリア形成を支援します。



金融業界では銀行や証券、保険など既存の業界の垣根を越えた商品の取り扱いが増え、より専門性の高い人材が求められています

パナソニック農業援隊

www.pasona-nouentai.co.jp

12月

農業経営人材を育成し農業経営をサポート 新会社「株式会社パナソニック農業援隊」を設立

農業人材の育成のほか、加工品の企画開発や販路開拓サポートなど幅広い農業関連事業を通じて、農業の第6次産業化を推進する「株式会社パナソニック農業援隊」を設立しました。農業復興と地域の活性化に貢献していきます。



兵庫県淡路島のチャレンジファームでは約10haの農地で年間を通じて作物を栽培。今後は加工した商品の販売も拡大していきます

パナソニック

www.pasona.co.jp

11月

ベルリッツとパナソニック 企業の中国進出を支援 「中国赴任前研修」サービスを開始

パナソニックはベルリッツ・ジャパンと提携し、中国に赴任する駐在員を対象に、中国語はもちろん、生活や商習慣、現地社員のマネジメントについて学ぶ「中国赴任前研修」サービスを開始し、企業のグローバル人事戦略をサポートしていきます。

パナソニックグループ

www.pasonagroup.co.jp

12月

エキスパートサービスの専門化・高度化を推進 「株式会社国際交流センター」を子会社化

翻訳・通訳を中心に外国語資料の作成、外国語に精通した人材派遣などを行っている「株式会社国際交流センター」を子会社化し、外国語人材の充実を図り、ネイティブレベルの外国語業務に対応できる体制を構築していきます。

ここから村 ～芸術と農業の融合で地域活性化～

「ここから村」はアートと農業、ビジネスを融合させ、地域の活性化とアーティストとしての自立を目指す1年間の人材育成プログラムとして、2011年4月に兵庫県淡路島でスタート。兵庫県の協力のもと、約200名の若者が様々な夢の実現に向けて、「半農半芸」という新しい兼業スタイルで働いています。プログラムを修了した若者の8割は淡路島での定住を希望しており、地域活性化において早くも成果を上げています。

パソナグループは兵庫県と共に、エネルギーと農を基盤に暮らしが持続する地域社会の実現を目指す「あわじ環境未来島構想」を推進しています。2011年12月、淡路島は内閣府から「地域活性化総合特区」に指定されました。



●「ここから村」のカリキュラム

1 ビジネス 基礎研修	ビジネスカレッジ ビジスマナー、パソコン、プレゼンテーションやグローバルコミュニケーションなど、ビジネスの基礎を習得します。
2 農業実践	アグリカレッジ 新規就農に必要な基礎知識の習得、経営戦略、マーケティング、農業経営の成功事例などを学びます。
3 芸術活動 実践	アートマネジメントカレッジ 芸術家に必要な企画力やマネジメントスキルを習得。プロデュース論やプロモーションツール作成術なども学びます。

「One Step」～ここから始まる最初の一步～

2011年12月 淡路市立アソンプレホールで開催

メンバー自身の再出発と地域活性化への思いを込めてオリジナルショー「One Step」を開催しました。映像や音響、美術、衣装など舞台に関する全てをメンバーが企画、運営し、和太鼓、ジャズ、ダンスなどアートマネジメントカレッジで学んだ多彩なパフォーマンスを披露。会場は淡路島内外から訪れた観客で満席になりました。



地域活性化の新しいモデルを創っています

「ここから村」のメンバーは、農業やイベントへの参加などを通じて地域との交流を深めています。芸術と農業が融合した新しい発想で、音楽、絵画やダンスなどそれぞれの才能を活かしながら、地域を盛り上げています。



歌やダンスのパフォーマンスでイベントを盛り上げています。地元青年団と協力し、淡路産品のPRも行っています

和太鼓の勇壮な演奏で祭りを盛り上げ、町おこしに貢献しているほか、メンバーが積極的に地域イベントに参加しています



地産地消による地域資源活性化を目指し、農家と交流しながら、自分達で栽培した野菜を使った商品開発なども行っています

2012年5月期第2四半期 連結業績ハイライト

インソーシング、ブレース&サーチが大幅に伸長 増収に伴い営業利益、経常利益、四半期純利益がともに増益

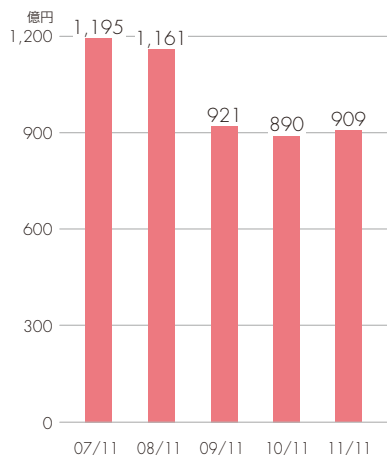
インソーシング(委託・請負)は緊急雇用案件の増加などで事業全体が拡張したほか、ブレース&サーチ(人材紹介)もIT関連、医療、メーカーなどで採用が活発化し大幅に伸長、グローバルソーシング(海外人材サービス)も堅調に推移しました。一方、エキスパートサービス(人材派遣)は先行きの不透明感から需要が抑制され、減収となりましたが、売上高は90,880百万円(+2.1%)の増収となりました。

売上総利益はインソーシングやブレース&サーチの増収により前年同期比+2.9%の16,647百万円となり、販管費は増収に伴い若干増加し15,922百万円(+1.8%)となったものの、営業利益は724百万円(+35.7%)と大幅な増益となりました。増益に加えて、前期に特別損失として計上した資産除去債務の影響がないことから、四半期純利益は75百万円と、前年同期の四半期純損失△549百万円から大幅に改善しました。

● 売上高

909 億円

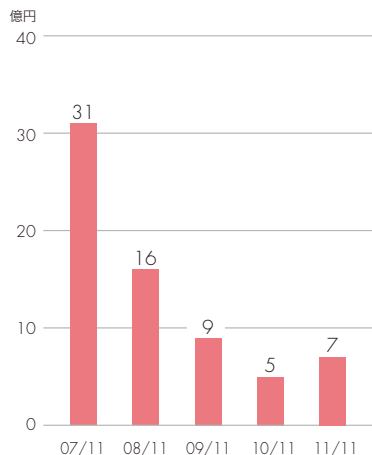
(前年同期比 **+2.1%**)



● 営業利益

7 億円

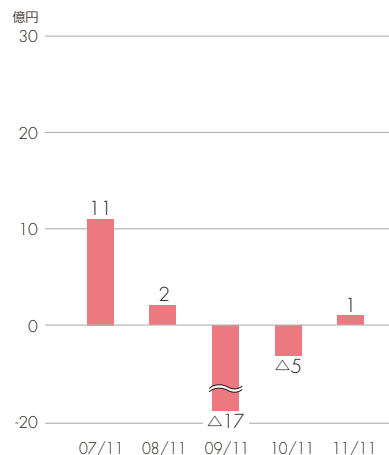
(前年同期比 **+35.7%**)



● 四半期純利益

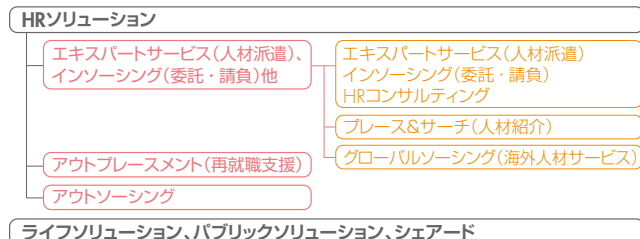
1 億円

(前年同期は △5億円)



セグメント別業績

● パナソニックの事業セグメント

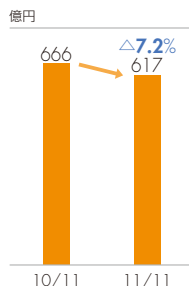


● HRソリューション

エキスパートサービス(人材派遣)

売上高 61,719 百万円

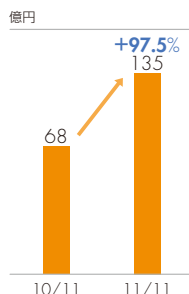
サービス業やメーカーを中心に新規受注は底堅かったものの、景気の下振れ懸念や円高の継続、派遣法改正の見通し等先行きの不透明感が需要を抑制し、減収となりました。職種別では、秘書など専門職種の育成型派遣が奏功し、ITエンジニアリング分野やテクニカル分野のマイナス幅はやや抑制されました。



インソーシング(委託・請負)

売上高 13,486 百万円

地方自治体の若年層就労支援事業や、被災者就労支援事業など緊急雇用関連の案件が引き続き増加しました。官公庁・地方自治体等から総務・庶務事務などの業務も受託したほか、これまでのノウハウを活用し、企業に対しても提案を進めた結果、インソーシング事業全体が拡張しました。

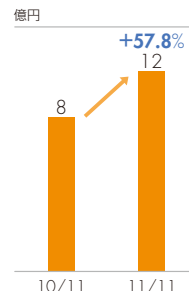


プレース&サーチ(人材紹介)

売上高 1,244 百万円

業績回復が見られた企業からの即戦力となる人材の求人は引き続き順調でした。ITなどの技術職や海外展開に伴う求人など専門性の高い人材を中心に採用が活発化し、大幅に伸長しました。

売上高 ■ 営業利益 ■
※増減率は前年同期比

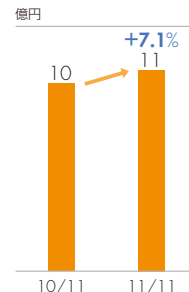


グローバルソーシング(海外人材サービス)

売上高 1,072 百万円

企業の海外シフトに伴いアジア中心に採用が拡大し、インド、中国などで人材紹介が伸長したほか、フルラインサービスの強化により人材派遣等のサービスも堅調に推移しました。

10月にはインドに5拠点目となるグルガオン支店を開設するなど、企業の人事戦略をグローバルでサポートする体制を強化しました。

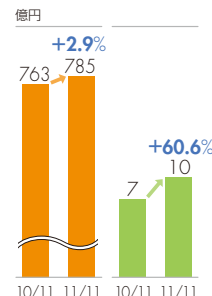


エキスパートサービス、インソーシング他

売上高 78,477 百万円

営業利益 1,049 百万円

当セグメントの営業利益は、インソーシングやプレース&サーチの増収により、+60.6%の増益となりました。

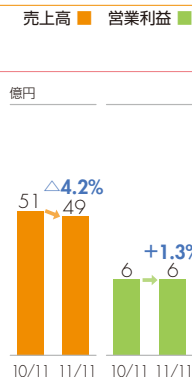


アウトブレースメント(再就職支援)

売上高 4,886 百万円

営業利益 593 百万円

新規受注は前期水準と比べ減少し、企業の海外移転などに伴う需要があったものの、減収となりました。利益面ではサービス利用者の早期決定が進んだことに加え、人員配置の適正化などコスト面での抑制効果もあり、増益となりました。

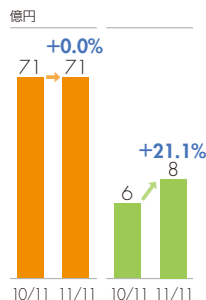


アウトソーシング

売上高 7,067 百万円

営業利益 765 百万円

ベネフィット・ワンでは大企業・官公庁等の法人会員に対して、ワークライフ・バランスを実現する福利厚生サービスのメニューを拡充したほか、企業顧客満足度向上のためのサービス(CRM)事業において企業の顧客から直接収入を得るパーソナル事業等の新規サービスにも注力しました。

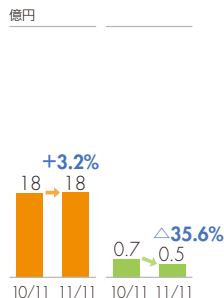


● ライフソリューション、パブリックソリューション、シェアード

売上高 1,830 百万円

営業利益 47 百万円

ライフソリューションの保育関連事業では、節電等の影響により臨時託児所の受託が増加しました。一方、業容拡大に向けた先行投資によりコストがやや増加しました。

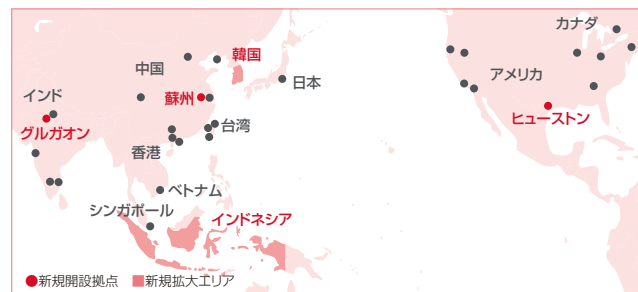


重点戦略の進捗

● 海外サービス拠点の拡大

今期の重点戦略の1つ、海外関連事業の積極展開については、韓国とインドネシアに新会社を設立したほか、既存の海外子会社においてもインド・グルガオン、米国・ヒューストンに支店をオープンしました。

インドは5拠点体制に、北米は今春オープン予定のシンシナティを入れると11拠点体制となり、今期計画の10地域37拠点を早期に達成する予定です。



● 海外人材サービスメニューの拡充

駐在員の給与計算や労務管理のアウトソーシングサービスを提供する「上海パイロールセンター」を開設、ベトナムでは日系人材会社として初めて人材紹介事業を開始したほか、ベルリッツと提携した「中国赴任前研修」など、サービスメニューも拡充しました。また、グループ会社のパソナエデュケーション(香港)を中心とした語学・実地研修などを通じてキャリアアップを支援するグローバル人材育成事業を自治体から受託しました。今後は日系企業の進出や経済成長が顕著な中国、インド、インドネシアの強化を図り、更なるサービス拡大に注力していきます。



新興都市として最も注目されているグルガオンの支店では、日系企業を中心にグローバル人材の紹介や人事コンサルティングを行っています

	前第2四半期 (自2010年 6月 1日 至2010年11月30日)	当第2四半期 (自2011年 6月 1日 至2011年11月30日)
売上高	88,994	90,880
売上総利益	16,174	16,647
販売費及び一般管理費	15,640	15,922
営業利益	533	724
経常利益	580	744
四半期純損益	△549	75

	前期末 2011年5月31日現在	当第2四半期末 2011年11月30日現在
総資産	60,564	57,480
負債	34,922	32,184
純資産	25,642	25,295
自己資本比率	34.7%	36.0%

総資産の主な増減は、現金及び預金の減少5,023百万円、インソーシング事業の受託増加に伴う一時的な売掛金の増加2,239百万円等です。

負債の主な増減は、買掛金の減少555百万円、長期借入金の減少793百万円、未払法人税等の減少427百万円等です。

純資産の主な増減は、四半期純利益75百万円、配当金の支払374百万円等です。

	前第2四半期 (自2010年 6月 1日 至2010年11月30日)	当第2四半期 (自2011年 6月 1日 至2011年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	634	△1,557
投資活動によるキャッシュ・フロー	△716	△1,344
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,711	△2,077
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,905	17,523

営業キャッシュ・フローの主な増減は、税引前四半期純利益788百万円、減価償却費1,014百万円、法人税等の支払額859百万円、インソーシング事業の受託増加に伴う一時的な売上債権の増加2,255百万円等です。

投資キャッシュ・フローの主な増減は、無形固定資産の取得488百万円、事業譲受による支出410百万円等です。

財務キャッシュ・フローの主な増減は、長期借入金の返済793百万円、配当金の支払655百万円等です。

株式の状況

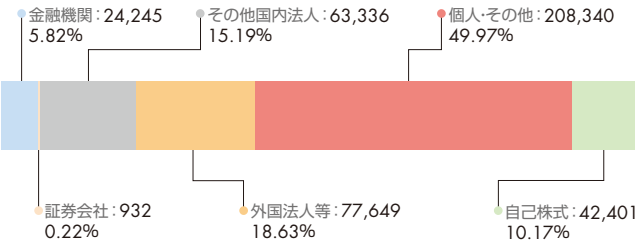
会社が発行する株式の総数: 1,500,000株

発行済株式総数: 416,903株

株主数: 8,136名

所有者別株式数

合計: 416,903株



株主(上位10名)

南部靖之	147,632株 (35.41%)
株式会社パナグループ(自己株式)	42,401株 (10.17%)
株式会社南部エンタープライズ	37,378株 (8.97%)
ステート ストリート バンク アンドトラスト カンパニー505223	32,364株 (7.76%)
株式会社サンリオ	12,000株 (2.88%)
ステート ストリート バンク アンドトラスト カンパニー (常任代理人 株式会社みずほコーポレート銀行 決済営業部)	11,127株 (2.67%)
ステート ストリート バンク アンドトラスト カンパニー505225	7,310株 (1.75%)
ステート ストリート バンク アンドトラスト カンパニー (常任代理人 香港上海銀行 東京支店)	7,022株 (1.68%)
メロンバンク エヌエー アズ エージェント フォー イッツ クライアント メロン オムニバス ユーエス ベンション	6,962株 (1.67%)
パナグループ従業員持株会	5,622株 (1.35%)

※自己株式42,401株(発行済株式数に対する所有割合10.17%)は、会社法第308条第2項の規定により議決権を有しておりません。

役員

取締役および監査役

代表取締役グループ代表	南部靖之
取締役会長	竹中平蔵
取締役専務執行役員	深澤旬子
取締役専務執行役員	山本絹子
取締役専務執行役員	若本博隆
取締役常務執行役員	仲瀬裕子
取締役	佐藤司
取締役	森本宏一
取締役	鈴木雅子
取締役	渡辺尚
社外取締役	平澤創 ^{*1,3}
社外取締役	衛藤博啓 ^{*1,3}
常勤監査役	肥後一雄
社外監査役	後藤健 ^{*2,3}
社外監査役	船橋晴雄 ^{*2,3}
社外監査役	松浦晃一郎 ^{*2,3}

*1 取締役の平澤創氏、衛藤博啓氏は会社法第2条第15号に定める社外取締役です。

*2 監査役の後藤健氏、船橋晴雄氏、松浦晃一郎氏は会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

*3 東京証券取引所に対し、平澤創氏、衛藤博啓氏、後藤健氏、船橋晴雄氏、松浦晃一郎氏を独立役員とする独立役員届出書を提出しています。

会社概要

社名	株式会社パナグループ(Pasona Group Inc.)
本社	〒100-6514 東京都千代田区丸の内1-5-1 新丸の内ビルディング
グループ本部	〒100-8228 東京都千代田区大手町2-6-4
創立	1976年 2月16日
設立	2007年 12月 3日
資本金	50億円
事業内容	グループ経営戦略の策定と業務遂行支援、経営 管理と経営資源の最適配分の実施、雇用創造 に係わる新規事業開発等

株式会社パナグループ

Tel. 03-6734-0200(代)
www.pasonagroup.co.jp



この株主通信は「FSC™認証紙」と、揮発性有機溶剤を含まない「VOCゼロ型インキ」を使用しています。

株主メモ

証券コード	2168
事業年度	毎年6月1日から翌年5月31日
剰余金の配当基準日	5月31日(中間配当を行う場合は11月30日)
定時株主総会	毎年8月
株式売買の単位	1株
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
公告方法	電子公告 www.pasonagroup.co.jp/ir ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告 による公告をすることができない場合は、日本経済新聞 に掲載して行う。
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-288-324(フリーダイヤル)

IRメール
登録の
ご案内

パナグループIRサイトでは、IR情報をタイムリーにお知らせするメール配信の登録を受け付けています。下記アドレスにアクセスの上、是非ご登録ください。

www.pasonagroup.co.jp/ir



表紙の絵:「富士山(日の出)」

岩本 悠介(知的障害)

パナグループのアーティスト社員として、絵を描くことを仕事にしています。定規を用いて、設計図のように正確でまっすぐな線で描くのが得意です。細かい部分までしっかり描くので、完成まで何ヶ月もかかることもあります。

パナグループは「才能に障害はない」のコンセプトのもと、1992年に「アート村」をスタートして以来、アートを通じて障害者の社会参加を支援しています。